

熱く 羽ばたけ 大潟っ子

白鳥



校長通信
大潟村立大潟中学校
令和4年7月22日(金) 発行
NO.4 文責:安田 和人



夏休みの過ごし方

いよいよ明日から夏休みです。今週はそれぞれの学年で夏休み中の課題が配付され、目標を決め、計画を立てたことと思います。私は今日の夏休み前集会の中で、皆さんに「目標設定の仕方」として、次の通り4つの観点を紹介しました。

観点①「具体的」で、観点②「測定可能」で、観点③「達成可能」であり、観点④「締め切りがある」というものです。別の言い方をすると、途中目標があり、数値化できて、達成の可能性が五分五分という目標を立てることです。

皆さんは、小学校時代から節目に際し、様々な目標と計画を立て実行してきたと思います。今振り返ると、うまく目標が達成されたこともあれば、計画倒れに終わってしまったという経験も多かったのではないのでしょうか。そこで今年の夏休みを目標をもった有意義なものにするために、次の3つの言葉の意味を理解し、計画的に取り組んでみましょう。



□ 「目的」「目標」「手段(計画)」

目的とは、最終的に実現したいものを指します。今取り組んでいることが、「何のために取り組んでいるのか?」と取り組むための理由になります。目標とは、目的を達成するための目印、または目的を達成するための通過点のことです。そして手段(計画)とは目標を達成するために行うこと、方法のことです。

最終ゴールを『目的』とするならば、途中にあるチェックポイントが『目標』であり、「どのようなやり方で行うのか?」が『手段』に当たります。具体例を挙げて説明します。たとえば、中学3年生のAさんが「将来、希望の仕事に就くために〇〇高校に行こう」と考えたとき、当たり前ですが、自分の志望する高校に通うためには高校入試に合格しなければなりません。そして合格するためには、必要な学力、知識を身に付ける必要があります。この場合、



目的：〇〇高校に合格する
目標：実力テストで〇〇〇点を取る
手段(計画)：毎日〇時間勉強をする



などとなります。Aさんの一番大きな目的は「将来、希望する仕事に就く」ことですが、中学3年生時点での目的は、〇〇高校に合格することになります。そのための目印として目標を設定していくこととなります。目標は以下のように途中目標に分けながら、

- ・途中目標1：「9月〇日の実力テストで270点を取る」
- ・途中目標2：「11月〇日の実力テストで300点を取る」
- ・途中目標3：「1月〇日の実力テストで350点を取る」などにとすると、リアルに実感できるようになるので行動につながっていきます。1、2年生は部活動等にもこの方式を当てはめて目標を設定し、毎日地道に取り組んでください。全員にとって、実りある夏休みになることを願っています。

質問力

7月12日(火)には、3年生が五城目第一中学校の3年生とPA研修交流を行いました。バスが遅れ、交流の時間が短縮されるハプニングもありましたが、給食も含め仲良くできていたと思います。初めて会う人と仲良くなるために必要なものは「質問力」です。大人の場合は世界共通ですが、ほとんど天気の話から会話を始めます。中学生の場合、相手に興味をもち、自分との共通点を見付けたり、新たな気づきを得るためにも「質問」することはとても有効で

す。事前に何個か質問を想定し、準備しておくことが沈黙を防ぎ、円滑なコミュニケーションにつながります。初めて会う人とどうやって仲良くなるかは「質問力」にかかっています。



■ ありがとう、そしてさようなら クリス先生 ~いつまでもお元気で~

昨年12月から本校で勤務しているALTのクリス先生が、7月末で任期を終えて大潟村を離れることになりました。今後はカナダに戻り、ご自身が専門とする分野の職業に就く予定だそうです。メッセージは、クリス先生が頑張って日本語で書いてくれました。

<クリス先生からのメッセージ>



10,000km離れた土地での新生活に、ワクワクしながらも、少なからず不安はありました。大潟中学校に初めて来た時、私は何が起こるのか想像が付きませんでした。「生徒たちは私のことをどう思うのだろうか?」「言葉の壁はどのくらいあるのだろうか?」「生徒たちに英語へのやる気を起こさせてあげられるだろうか?」幸いなことに、生徒もスタッフも温かい笑顔で迎えてくれ、最初の不安はすぐに消え去りました。短い期間ではありましたが、ここで得た新しい経験や学びは、私の中で永遠に生き続けることでしょうか。皆さんにも、この気持ちを伝えられたらと思います。

大潟中学校の皆さんへ。今、皆さんは人生において、急速に変化をしている時期です。これから皆さんは、自分たちを取り巻く世界がどのように動いているのか、その中において社会がどのように絡み、影響を与え合っているのか、そして何より、その世界・社会に自分という個人をどのように適応させるのかという事を学んでいくはずですが、若者として成長し始めた皆さんは、仲間との差別化を図り、新たな責任を自分に課し始めたところだと思います。その結果として、高い水準でものごとを判断できるようになります。勉強はもちろん大事ですが、目的を作らずにやる勉強に意味はありません。宇宙飛行士は探究心がなければ宇宙飛行士になれはしないし、彫刻家は細部にまでこだわる情熱がなければ彫刻家にはなり得ません。医者も他者への底なしの共感がなければ医者にはなれません。勉強する目的を見つけるのが難しいから、英語はそれほど重要ではないと思う人がいるかもしれませんが、私はそれでいいと思います。私が学生だった時、必須科目でフランス語を強制的に習わされましたが、当時私にとってフランス語は重要ではありませんでした。しかし、今になり振り返ってみると、あの時もし目的を見出せていたら……と思います。どのようなことでも、あなたが追い求め、努力をする際には、その目的を明確にすることが大切だと覚えておいてください。そうすれば、この先の経験はより意味のあるものとなり、あなたやあなたの周りの人たちに喜びを与え、あなたが予想もしなかったことも含め、あなたに新たな気づきや発見をもたらしてくれることでしょうか。言い換えれば…あなたが在り続けられるということです。